



仏教婦人会連盟 創立70周年記念大会 (令和6年度総会)
2024 (令和6) 年5月15日 (水)、出雲市民会館にて開催 (3ページに記事)

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
 山陰教区委員会
 発行 山陰教区 教務所
 〒660-0002 松江市大正町四四三ノ一
 本願寺山陰教堂
 TEL 〇八五二 21 四七四七
 FAX 〇八五二 27 八三五一
 発行 利信
 者 農

実践運動今期二カ年度の活動について 「御同朋」を改めて問う

御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会副委員長
中央委員 会 委員

須山成頭

まずもって、今年元旦に起こりま
した能登半島地震によって被災され
た皆さまに衷心よりお見舞いを申し
あげます。いまだこの先の見通しも
立たず、不安の中に避難生活を送ら
れている方々の一日も早い復興を願
うばかりです。

先だって山陰教区青年僧侶の会「楽
法会」におかれましては能登半島地
方への支援活動にあたりご尽力頂い
ていると聞き、大変ありがたく頼も
しく思います。

私たちの取り組む実践運動の根本
は「御同朋の社会をめざす運動」で
あります。「御同朋の社会」とは「あ
らゆる人々に阿弥陀如来の智慧と慈
悲を伝え、もって自他共に心豊かに
生きることのできる社会の実現をめ
ざし、宗門全体で推進する運動」と
定められています。つまりは阿弥陀
如来に願われ、必ず仏となる身と定
まっている者として、「お互いさま」
と手を携え合い支え合い助け合うこ
とであり、つねにご法義が中心とな
りご法義を伝え伝える事により、自
他ともに心豊かに生きることのでき

る社会が実現されるのです。

さて、今年三月八日に荻野昭裕氏
が総長として就任されました。昨年
発布された「新しい領解文」を巡る
問題や賦課金の賦課基準の見直しな
どについて「現場と密に連携し、一
つ一つ対応していきたい」「現場の声
を聞き、双方が意見を出し合いなが
ら進めるような宗門にしたい」と言
われています。

昨年より各教区において宗派主催
の新しい領解文の学習会が開催され、
今年七月には全教区での学習会が終
了しました。この学習会の中で全国
から多くの要望や疑問が挙げられま
した。しっかりと現場の声を聞いて
いただき、諸問題を解決の方向に進
めていただけることを願うばかりで
あります。

御同朋の社会とは皆がそれぞれ意
見を出し合い、声を聞き合いお互い
手を携え前に向かって進むことであ
ります。今一度その理念を共々に考
え、改めて実践運動の根幹について
考え推進してまいりたいと思います。

教区会議員並びに
組長について

任期満了にともない、教区会議員
選挙並びに組長選挙が行われ、新た
に二〇二四(令和六)年四月一日付
けにて、下記の皆さまが教区会議員
並びに組長に選出されました。

山陰教区教区会
正副議長選出について

二〇二四(令和六)年五月七日、
山陰教堂にて開催されました臨時教
区会において、教区会議長並びに教
区副議長が次の通り選出されました。

教区会議長

須山成顕(鹿足組 正法寺)

教区副議長

澤田暉夫(松江組 本誓寺)

山陰教区組長会
正副組長会長について

二〇二四(令和六)年五月二七日、
山陰教堂にて開催されました組長会
において、正副組長会長が次の通り
選任されました。

組長会会長

三明浄信(大田西組 照善坊)

組長会副会長

西谷啓翠(出雲組 通傳寺)

山陰教区 教区会議員・組長 一覧

任期：2024 (令和6) 年4月1日～2028 (令和10) 年3月31日

	組名	所属寺	教区会僧侶議員	所属寺	教区会門徒議員	所属寺	組長
01	鳥取因幡	光輪寺	山田 節子	浄善寺	竹内 紀彦	浄徳寺	吉岡 義信
02	鳥取伯耆	覺善寺	千石 祐正	香寶寺	水野 彰	香寶寺	上杉 信成
03	松江	明宗寺	楠 信也	本誓寺	○澤田 暉夫	西宗寺	高野 睦
04	出雲	妙壽寺	山崎 崇峰	西念寺	福島 勲	通傳寺	○西谷 啓翠
05	神門	願立寺	勝島 徹正	西蓮寺	今岡 一真	明顯寺	鈴木 二郎
06	出雲南	萬行寺	巖 紀恵子	慈眼寺	菅原 民雄	善福寺	蘿 裕章
07	飯南	一念寺	熊谷 高暢	一念寺	大森 民雄	西正寺	佐和田 裕
08	大田東	浄土寺	徳川 眞英	善性寺	小倉 一義	浄賢寺	岩根 了達
09	大田中	善正寺	津村 信隆	玉泉寺	三井 隆治	西性寺	龍 善暢
10	大田西	浄善寺	柳井 宗生	龍藏寺	眞野 明政	照善坊	◎三明 浄信
11	佐波	専教寺	渡邊 泰文	西光寺	波多野康博	法光寺	大草 眞教
12	川本	福泉寺	松林 茂	法隆寺	大迫 幸人	福常坊	福井 義信
13	千須賀	西圓寺	雜賀 和彦	照立寺	中原 康隆	西蓮寺	口羽 義秀
14	邑智東	玄祐寺	野田 義仁	明覚寺	増田 新	西善寺	高倉 宗隆
15	邑智西	願入寺	日高 秀憲	光西寺	石田 雅春	西念寺	伊東 一真
16	江津	円覚寺	小笠原義敬	法正寺	岩根 正博	光善寺	波北 顕
17	浜田	眞光寺	大原 孝見	金藏寺	福田 宏	金藏寺	朝枝 成
18	三隅	禮光寺	月洞 昇道	専称寺	山本 正典	浄蓮寺	早川 寛之
19	益田	泉光寺	木村 雅信	泉光寺	寺井 良徳	蓮長寺	藤谷 一劍
20	鹿足	正法寺	◎須山 成顕	了徳寺	河田 寿樹	常光寺	富岡 芳史

◎…正 ○…副

フードバンク活動報告

ご協力いただいた団体・個人から
三一〇(延べ数)

届けていただいた食品・日用品の
数三、二〇〇

お米約一二〇〇kg、お菓子約
一、一五〇食、インスタント食品約
一、一五〇食、缶詰約二五〇個、調
味料三五〇個、飲料水約六〇〇本
その他日用品(洗剤・タオル等)

これまで五八回にわたり山陰両県
の社会福祉協議会や管轄する役所、
活動されている団体へお渡ししまし
た。また各社会福祉協議会の方から
特にお菓子・レトルト食品・カップ
麺が喜ばれたとのご報告をいただき
ました。今後も継続して実施いたし
ますので、ご協力をお願いいたします。
○届けていただきたい食品

お米・レトルト食品・インスタント
食品・缶詰・瓶詰・乾麺・のり・わ
かめ・昆布・粉末食品(お茶漬けの
素・味噌汁・ふりかけ等)調味料(醬
油・砂糖・麵つゆ・塩・味噌・酢・
食用油等)・菓子など

○注意いただきたい事項
・賞味期限が明記されており、一ヶ
月以上あるもの(杜協によっては
三ヶ月以上)
・未開封で中身が出ていないもの
・常温保存が可能なもの

仏教婦人会連盟創立七〇周年記念大会 (令和六年度総会)

期 日 二〇二四(令和六)年
五月十五日(水)

会 場 出雲市民会館 大ホール

参加者 六七六名

一九五四(昭和二九)年に山陰教
区仏教婦人会連盟が結成され、七〇
周年を迎えた本年、出雲市民会館に
おいて七〇周年記念大会を開催しま
した。

式典では、コーラスの皆さまによ
る音楽法要の後、第一二代委員長の



大迫五十鈴さま(大田東組 常見寺
仏教女性会「むくの会」)、第二二代
委員長の矢野ゆう子さま(出雲組 専
立寺 仏教婦人会)に総裁さまからの
表彰状をお渡ししました。

記念講演は、「お念仏は阿弥陀さ
まのお呼び声」と題し、中央仏教学
院講師、仏教婦人会総連盟元講師の
三宮亨信 師(滋賀教区滋賀組 正源
寺住職)に「南無阿弥陀仏」のおこ
ころや山陰の妙好人のことばについ
てわかりやすくお話いただきました。

また、出西民謡同好会による島根
の民謡を披露いただき、参加者から
も「普段鑑賞する機会もなかったの
で大変良かった」との声も多くあり
ました。

過疎化や高齢化などで休会や退会
せざるをえなくなった仏教婦人会も
あるなか、本大会が、仏教婦人会活
動の発展につながる機縁となること
を願っております。



ご本山への団体参拝は弊社へご用命をよろしくお願い致します。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB** 山陰支店

〒690-0003
松江市朝日町477-17 松江SUNビル7階
TEL 0852-23-6720
FAX 0852-23-7739
営業時間：9:30~17:30 (土・日・祝日休業)

二〇二四 (令和六) 年度 「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 山陰教区委員会 (総会) 報告

一. 期 日 二〇二四 (令和六) 年
六月二十六日 (水)

二. 会 場 本願寺山陰教堂 教化セ
ンター 研修室

三. 出席者 二四名

四. 協議事項

(一) 役員選出・担当者会承認につ
いて

① 正・副委員長選出

委員長 晨 利信 教務所長

副委員長 須山成顕 委員

副委員長 三明浄信 委員

② 中央委員会委員選出

中央委員会委員 須山成顕 委員

③ 部会・部員選定 ※名簿参照

④ 正・副部長選出

〈同朋・社会部会〉

部 長 菅原 憲 委員

副部長 岩 義博 委員

〈寺院活動支援部会〉

部 長 月洞昇道 委員

副部長 武田正文 委員

〈伝道・広報部会〉

部 長 波北 顕 委員

副部長 高津眞悟 委員

⑤ 常任委員選出 ※名簿参照

⑥ 担当者会承認 ※名簿参照

(二) 山陰教区総合基本計画・重点
プロジェクト承認について

山陰教区総合基本計画(案)、
山陰教区重点プロジェクト
(案) について原案通り承認。

(三) 部会協議

部会ごとに今年度事業につい
て協議。

(四) 全体会

各部会から報告

〈同朋・社会部会〉

・ 同朋社会研修会を七月一七日

(水) に開催。内容は、映画

「福田村事件」の上映。講師

は映画監督の森達也氏。

・ フードバンク活動を引き続き

奨励していく。

・ 平和の鐘について、今年度も

周知をしていく。

〈寺院活動支援部会〉

・ ご縁まち交流について、実施

に向け、誰でも参加できるイ

ベントや地域のボランティア

に参加する等の計画を立てて

いく。

・ 寺院活動支援部会に過疎対応
支援担当を設置していただき
たいとの要望があった。

〈伝道・広報部会〉

・ 僧侶研修会を九月二三日(金)

に開催し、サテライト会場を

設置する予定。

・ カレンダーの発行部数は近年

増加している。今後も広く周

知をしていきたい。

・ 勤式練習所について、多くの

方に参加いただけるよう奨励

していきたい。

・ オンライン担当について、過

疎対策のためにもどのような

ことができるのかを協議して

いく。

(五) その他

・ 伝道・広報部会の担当者会で

部員がいらない担当については、

担当長が教区委員(部員)に

就任いただくよう依頼する。

・ 「子どもたちの笑顔のために

募金」の集計現況について。

↓ 第六回集計(二〇二四年二

月一日〜二〇二四年六月

二六日)

全教区…三七〇件

八、四〇六、九一八円

山陰教区…一〇件

一五四、〇〇〇円



親鸞聖人御誕生 850年
立 教 開 宗 800年
慶讃法要記念
川勝オリジナル

(経本入・式章袋・念珠袋)

印刷と出版でできること。
編集・デザイン・印刷・出版のプロとして
様々なソリューションを提供する。
人と向き合い、地域と向き合い一緒に一つのこと。
それが私たちにできる、地域貢献のカタチだと考えています。

お客様の良き相談相手になることを目指します
株式会社谷口印刷
ハーベスト出版



御本山用達

株式会社

川勝法衣店

〒600-8344 京都市下京区花屋町通油小路東入

0120-075-055
TEL.075-371-0367(代)
FAX.075-371-5088

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動) 山陰教区総合基本計画

1. 基本理念

宗祖親鸞聖人は、混迷した世の中に、阿弥陀如来に等しく救われていく往生浄土の教えを示してくださいました。そして苦悩する人々と共に「御同朋・御同行」の精神でお念仏の教えを広く伝えていかれました。宗門にかかわる全ての人々がお心を受け、教団の抱える課題克服のために、「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げ基幹運動（門信徒会運動・同朋運動）に取り組み、力を尽くしてきました。

専如門主は、ご親教『念仏者の生き方』において、「国の内外、あらゆる人びとに阿弥陀如来の智慧と慈悲を正しく、わかりやすく伝え、そのお心にかなうよう私たち一人ひとりが行動することにより、自他ともに心豊かに生きていくことのできる社会の実現に努めたいと思います。世界の幸せのため、実践運動の推進を通し、ともに確かな歩みを進めてまいりましょう」とお示しになっています。

私たちは、み教えに生かされ、み教えをひろめ、宗門の英知を結集しながら、御同朋の社会をめざす運動（実践運動）を力強く進めていきます。

2. スローガン

【結ぶ絆から、広がるご縁へ】

3. 実践目標

- ・〈貧困の克服に向けて～ ダーナ フォー ワールド ピース Dāna for World Peace～〉一子どもたちを育むために一
- ・日常の寺院活動

4. 達成目標

〈同朋社会部会〉

- 貧困問題の克服に向けた取り組み
- 差別、平和、環境などの社会問題への取り組み
- 法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する

〈寺院活動支援部会〉

- 寺院機能の活性化、教化団体の連携、過疎地域寺院対策

〈伝道広報部会〉

- 時代・社会に即応する教学、文書視聴覚伝道



以上

山陰教区 重点プロジェクト

スローガン		結ぶ絆から、広がるご縁へ
重点プロジェクト	実践目標	・〈貧困の克服に向けて～ <small>ダーナ フォー ワールド ピース</small> Dāna for World Peace～〉一子どもたちを育むために一 ・日常の寺院活動
	期間	2024 (令和6) 年度～2027 (令和9) 年度
	達成目標	〈同朋社会部会〉 貧困問題の克服に向けた取り組み 差別、平和、環境などの社会問題への取り組み 法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する 〈寺院活動支援部会〉 寺院機能の活性化、教化団体の連携、過疎地域寺院対策 〈伝道広報部会〉 時代・社会に即応する教学、文書視聴覚伝道
	推進計画	令和6年度～令和9年度 〈同朋社会部会〉 ・貧困問題の克服に向けた具体的な取り組みを行う ・差別、平和、環境などの社会問題に取り組む ・法名・差別問題への取り組みを各組へ推進する 〈寺院活動支援部会〉 ・連研実施組の拡大について取り組む ・次世代を担う世代への教化伝道活動を行う ・過疎問題に取り組む 〈伝道広報部会〉 ・伝道資料を用いた教化伝道活動を行う ・教区報・教区ホームページを充実させる ・僧侶の本分を再認識する研修会（教学、伝道、勤式等）

「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区委員名簿(部会別)

任期：2024 (令和6) 年4月1日～2026 (令和8) 年3月31日

Table with 7 columns: No., 組名, 寺院名, 実践運動委員, 期数, 役職・部会, 選任資格. Lists 40 members across various departments like 同朋・社会部会, 寺院活動支援部会, and 伝道・広報部会.

※印は常任委員会委員

「御同朋の社会をめざす運動」山陰教区 担当者名簿

任期：2024 (令和6) 年4月1日～2026 (令和8) 年3月31日

Table with 7 columns: 所掌部会, 担当名, 担当者. Lists department heads and their deputies for departments like 同朋・社会部会, 寺院活動支援部会, and 伝道・広報部会.

「連研履修者研修会に参加して」

飯南組 真向寺 吉川光城

去る三月二日(土)、出雲組の龍善寺を会所として、連研履修者研修会が開催されました。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、開催中止や内容を変更して行ってきましたが、五年ぶりにコロナ禍以前の研修内容で開催されました。

今回は七名の参加者の方々と、昨年六月三〇日に策定された「門徒推進員という生き方【理念】」をテーマに研修を行いました。午前中にはまず大田西組 願林寺の窪田英俊師による講義が行われました。念仏者の姿勢と

から、私たち自身の在りようや世間の現状と向き合い、どのよう歩むべきかお話をいただきました。次に、



千須賀組 永照寺の吉川恭師から「佛法を聞くことによつて何が変わるのだろうか」という問題提起があり、昼食をはさんでこの問いについて参加者による話し合い法座とスタッフも交えての全体協議会を行いました。それぞれのお念仏との出会いや自分なりに大切にしていることについて思いを語り合うことができました。続いて、三隅組 妙蓮寺の小原静伍師による仏事・勤行指導にて、お仏壇の莊嚴「供物・花などのお供えものについて」を中心にお話をいただきました。また日常の勤行について種類・内容やその大切さについて詳しく教えていただきました。最後に教区門徒推進員連絡協議会会長の齊藤寛氏から「中央教修のすすめ」と題して中央教修について、また、現在の活動についてお話をいただきました。

どの研修内容も温かい雰囲気の中有意義なものであったと感じます。今後も連研を履修された方がさらなる研修の場として活用していただけたらと思うので、また中央教修へ参加を促したいと思っております。また中央教修へ参加を促したいと思っております。また中央教修へ参加を促したいと思っております。

少年連盟 子ども・若者ご縁づくり指導者研修会

三月五日(火)に「少年連盟 子ども・若者ご縁づくり指導者研修会」を開催いたしました。今回の指導者研修会は、少年連盟と子ども・若者ご縁づくりとの合同開催となります。

デジタル化が進んでいる中、改めてアナログなゲームに着目し、お寺での子ども会の遊び方をともに考えていくことを目的とした研修会です。鹿足組 誓立寺 朋澤融智師から、「これからのお寺での遊びを考える」ポ



ドゲームでの遊びを通して」というテーマでご指導いただきました。はじめに、簡単なゲームを織り交ぜて参加者から自己紹介いただきました。参加者を二チームに分け、一から百の数字を皆にわからないように配り、テーマに沿って小さい数字から順番に並べていく「ITTO」というゲームを行いました。このゲームは、自分の「意図」と相手の「意図」を考え、価値観のずれを楽しむパーティゲームです。

協力してゲームを行うことで、初めて会う方ともすぐに仲良くなり、緊張がほぐれました。このゲームは、多人数でできるため、今研修会では二チーム(一チーム十名程度)で行いましたが、一チームにまとめても盛り上がるゲームだと実感しました。参加者の皆さんからは、「自坊でも簡単にでき、実際にやってみよう」となどの声を多くいただきました。

他にもさまざまなアナログゲームを用意いただきました。実際に体験してみると、皆熱中し、拍手や歓喜の聲があふれました。参加者の遊びの幅が広がった大変すばらしい研修会でした。

ビハロー山陰 公開講座

期 日 二〇二四 (令和六) 年
三月八日 (金)
会 場 出雲市民会館
参加者 四三名

このたびの公開講座は、「地元の医療とビハローが直接連携をとることができないか」との提言から、雲南市で病院を開業されている永瀬英雄 医師に「田舎の開業医としての思い〜真宗門徒の願い〜」と題してお話をいただきました。

医師としての苦労話や今後の展望について、特に医療の現場でも人材が不足していることで、一人への負担が大きくなっていることや、周りとの連携も取りづらくなっているとお話くださいました。

現場で働かれている医師のお話を直接聞くことで、ビハローとしてどのような関わりができるのか、何が必要とされているのかを学ぶことができた有意義な講座となりました。

ビハロー山陰では、今後も地元で活躍されている方をご講師に招き、ビハローとの連携の構築につながる講座を企画してまいりますので、ご参加をお待ちしております。



青年布教使大会

邑智東組 高善寺 武田正知

二〇二四年 (令和六年) 三月二六日に、益田市匹見町の善正寺にて山陰教区青年布教使大会が開催されました。会所の春彼岸法要、益田組法座に合わせて行われましたので、たくさんの御同行がご参りくださいました。さまざまな年齢の方々が集まりになり、賑々しく温かな雰囲気の中、ともに阿弥陀さまのお慈悲をお聞かせいただきました。

この日は、私を含め四名の僧侶が取次ぎのご縁を頂戴しました。出講者四人で控室にて待機している時に、お互いに感じているお取次ぎに対する緊張を吐露し合う場面がありました。人前で話すことへの緊張感、御同行や先輩僧侶の方々のご話すことへの気負い。他の出講者の方々のご話すことには私にはわかりかねますが、自分を良く見せたいという気持ちが、私のなかにはあったと思います。しかしお三方の言葉やお姿からは、阿弥陀さまのお慈悲をお取次ぎすることへの重圧をひしひしと感じました。そういう緊張感を共有させていただけるとは布教大会ならではの良さだと思いましたが、この控室での時間も私にとってはお聴聞のご

縁でした。そして布教大会が始まり、お三方のご法話をお聞きして感じたことは、熱意は伝わるということでした。法話の構成やお聖教の研鑽、話し方の訓練など、法話において大切なことはいくつもあるのだと思います。しかし何よりも、お取次ぎに対する、阿弥陀さまに対する真摯な姿そのものが布教になっていくのだと、お三方から教えていただきました。私たちは、風そのものを目で確認することはできません。しかしゆらゆらと揺れ動く草木を見て、そこに風があるのだと確認することができ、柳野慈演さん、市野覚生さん、阿弥陀さまのお慈悲に突き動かされながらお話をくださるお三方の姿に、今ここでおはたらきくださる阿弥陀さまを味あわせていただけたのは、私だけではないと思います。尊いお育てをいただきました。有難うございました。



山陰教区布教団役員名簿

※7月30日現在 任期:2024年4月1日~2026年3月31日

役職	組名	所属寺	氏名
団 長	(山陰教区教務所長)		農 利信
副団長(代表委員)	大田西組	願林寺	窪田 英俊
副 団 長	邑智東組	眞清寺	瑞光 倫浩
副 団 長	出雲組	覚専寺	佐々木 俊教
委 員	鳥取因幡組	光賢寺	西池 浩宣
委 員	出雲組	妙壽寺	山崎 崇峰
委 員	大田東組	浄土寺	徳川 眞英
委 員	佐波組	浄土寺	西原 眞公
委 員	江津組	光善寺	波北 顕
委 員	浜田組	正念寺	藤澤 行治
女性代表	邑智西組	浄泉寺	朝枝 憲子
青年代表	邑智東組	西福寺	小笠原 宣隆
監 事	鹿足組	誓立寺	朋澤 智弘
監 事	松江組	眞光寺	吉田 剛
幹 事	(山陰教区教務所職員)		黒河 敬生

二〇二四(令和六)年度 山陰教区布教団総会

期 日 二〇二四 (令和六) 年
四月一七日 (水)
会 場 本願寺山陰教堂 教化センター 研修室
出席者 三七名

総会では、前年度事業報告・前年度決算報告、監査報告及び今年度事業計画(案)・今年度予算(案)について審議され原案の通り議決されました。また、任期満了に伴う役員改選が行われ次の通り新役員が選出されました。
※教区ホームページに「布教団からのお知らせ」を新設しておりますのでご覧ください。

「中・四国ブロック寺族野球大会に参加して」

邑智西組 光西寺 石橋直人

五月九日(木)、中・四国ブロック寺族野球大会が山口教区担当のもと、山口県山口市の山口マツダ西京きずなスタジアムで行われました。すばらしい快晴で初夏を思わせる気候の下、山口教区の長州チーム、安芸教区のファイヤーズ、備後教区の備龍会、そして山陰・四州寺族野球部(備龍会チームからも二名加わってくださいました)の四チー



ムで試合が進められました。

初戦は安芸教区のファイヤーズと対戦。序盤に先制し波に乗ったかと思いきや、久々の実戦や緊張のせいか逆転を許しました。その後は硬さがとれ、のびのびとプレーをすることができましたが、二一六で敗れました。気持ちを切り替えて二試合目、山口教区の長州チームとの対戦。この試合では選手それぞれ本来の力を発揮することができ、一進一退の攻防の末、五―四で勝利。この試合は三位決定戦でもあり、私達は三位になりました。

日ごろの練習が足りてないことや体力作りの大事さを実感しながらも、当日の天候や気候に恵まれ、また選手一人ひとりがケガなく楽しく試合ができ、野球を通して親睦を深めることができました。

九月には寺族野球の全国大会があります。夏場の暑さに負けないよう熱く動ける体に仕上げたいと思います。

勤式練習所 開所式

五月二三日(木)、浜田組 覚永寺にて、今年度「山陰教区 勤式練習所」の第一回講義を開催しました。

開所式に引き続き、「声明理論」「葬儀」「衣体の着付け(色衣・七条・切袴)」について、教区勤式担当の朋澤融智師から講義をいただきました。

今年度の勤式練習所は、計六回の講義を開催します(東部会場・山陰



教室、西部会場・浜田組 覚永寺)。さまざまなご要望にお応えするため、今年度は「基礎コース」「実践コース」「作法コース」の三つのカリキュラムを設置します。

仏さまへのお敬いの心を形にしたのが勤式作法です。報恩講の参りあいや日々の法務をより丁寧にするために、あらためてご自身の作法や勤式理解を確認してみませんか。

お申し込みは随時受け付けておりますので、教務所までご連絡ください。



勤式練習所の詳細については、山陰教区ホームページをご覧ください。

仏教壮年会連盟
総会・研修会

期 日 六月八日 (土)
会 場 山陰教堂教化センター
研修室

参加者 七六名

総会では、昨年度の事業報告・決算報告・監査報告、今年度の事業計画案・予算案について審議され、議決されました。

続く研修会では、仏教壮年会連盟講師の北山祐章師 (備後教区 沼隈南組 光源寺住職) から、「私のお寺いっしょに仏壮々今、仏教壮年会のやくわり〜」と題し、講義をいただきました。

講師のご自坊では、レクリエーション活動・バザー・お寺の環境整備など、さまざまな場面で仏教壮年会の会員に協力を依頼しているとのこと。会員がお寺の活動に参画し、その中でお寺で手を合わせてお念仏を称えること、そして、「変えなければならぬこと」「変えてはならないこと」を明確にし、会員と共有すること、これが今後の仏教壮年会にとって重要なことであるとお話いただきました。質疑では、会員減少に伴う会員の勧誘方法についての質問が多くあり



ました。

仏教壮年会活動の現状と今後について、具体的な事例を交えながらお話をいただき、参加者一同、学びを深めることができました。終了後、早速お寺へ相談に向かわれた会員の方もおられたと伺いました。会員を増やすことに課題を抱えている単位会も多くありますが、研修会の開催を通して単位会の活性化につなげていきたいと思えます。

ビハークラ山陰
総会・研修会

期 日 二〇二四 (令和六) 年
六月一日 (火)

会 場 山陰教堂教化センター
研修室

参加者 二六名

ビハークラ山陰 総会・研修会を開催いたしました。総会では令和五年度の実績報告・決算報告・監査報告、続いて新役員の選任の後、令和六年度の実績報告・予算案についてご審議いただきました。

研修会は、ビハークラ山陰副会長、島根県外国人地域サポーター (出雲



市)の堀西雅亮師 (神門組 眞宗寺) に、「ビハークラの広がり〜多様な私たちの安心〜」と題しお話をいただきました。

近年、外国からの移住者が増え、ことばや文化が多様な社会となるなか、私たち日本人が壁を作ってしまったら、何気ない一言で傷つけてしまったりする場面があります。日本での生活を含め、病の苦しみや死への不安は移住してきた方も同じであり、人々の苦しみに共感し、積極的に社会にかかわっていくことを理念とする「ビハークラ活動」においても、多様な社会に生きる私たちにとっての安心とは何か、私たちに何ができるのかを会員同士で話し合いました。



2023 (令和5) 年度 山陰教区一般会計 歳計決算

自 2023 (令和5) 年4月1日
至 2024 (令和6) 年3月31日

【歳入】

Table with 4 columns: 款, 項, 2023年度決算額, 2023年度予算額, 対比△減. Rows include 1 教区賦課金, 2 宗派助成金, 3 願記手数料, 4 回金, 5 雑収入, 6 前年度繰越金, and 歳入合計.

【歳出】

Table with 4 columns: 款, 項目, 2023年度決算額, 2023年度予算額, 対比※超過. Rows include 5 諸手当, 6 教区勤事指導員事務費, 2 事務費, 3 旅費, 4 諸費, 4 回金, 5 宗会議員選挙費, 6 予備費, and 歳出合計.

【歳出】

Table with 4 columns: 款, 項目, 2023年度決算額, 2023年度予算額, 対比※超過. Rows include 1 教区事業費, 2 教化費, 3 助成費, 2 会議費, and 3 教務所費.

Summary table with 2 columns: 歳入合計, 歳出合計, 差引残高. Values: 77,349,237; 65,557,325; 11,791,912.

Advertisement for Mic Ltd. with text: オフィスの身近な応援団! For the best service company. MIC 株式会社 ミック. Includes contact info: 〒690-0826 松江市学園南2-10-14タイムプラザビル1F, TEL 0852-27-0329, FAX 0852-27-0376, and website https://www.mic-ltd.co.jp.

第四連区布教使研修会

出雲組 覚専寺 佐々木俊教

七月一日〜二日、標記研修会が安芸教区担当により、広島オリエンタルホテルを会場に開催され、第四連区（山陰・四州・備後・安芸・山口）内、一三〇名の布教使が一堂に会し研修を受けました。（山陰教区から出席者二四名）

研修一は、『み教えと差別の現実』差別現場からの学びと題し、同朋研修講師 伯水永雄師（高岡教区 氷見西組 明泉寺住職）の、障がい者差別についての講義でした。經典内の差別的表現、差別語、比喩等をどのように受け止めていくのか、事例をあげ講義がなされました。

また、「依正不二」「縁起の法」からの障がい観や、第四一願『諸根闕陋して具足せずは、正覚を取らじ』の受止め等、差別の現実にとのように向き合うかを、参考資料やレジュメをもとに講義をいただきました。

伯水先生は「私自身の中にも差別心がある。それを誤魔化さず見つめ、それを前提に克服するための学びを怠らず重ねたいものだ」と、講義を結びました。研修二は『如来蔵（仏性）思想の概要』の講義で、本願寺派勸学・相馬一意和上の講義でした。如来蔵（仏性）思想の源泉や基本概念「一切衆生悉有仏性（有如來蔵）」、法華経の教えの展開、如来蔵思想の中国仏教・日本仏教への広範な影響、



『涅槃経』の位置付け、仏性思想と中国の性善説を通して確認し、一闡提成仏説や本覚思想を学びました。研修三は、『如来蔵（仏性）思想の概要』の講義を受けてのパネルディスカッションが行われ、山陰教区からは北島清秀 布教団前副団長をはじめ、各教区から一名ずつパネリストが、和上に「如来蔵思想を親鸞聖人がどの様に受け止めておられたのか？」等の疑問点を尋ね、それぞれの意見を交換し感想を述べ、参加した団員の研鑽を深める有意義な研修会となりました。

エコキャップ収集運動にご協力ください

山陰教区では、御同朋の社会をめざす運動（実践運動）取り組みの一環として、「エコキャップ収集運動」を実施しています。

「エコキャップ収集運動」は、使用済みエコキャップをリサイクルメーカーに売却した代金で、世界の子どもたちにワクチンを届ける運動です。教務所には7月までに、約一〇、〇〇〇個ご協力いただきました。

※お持ちいただくキャップは、軽く洗い、飲料や汚れを落としてください。



日時 二〇二四（令和六）年九月一八日（水）
〔平和の鐘実施時間〕
午後一時三〇分〜午後一時三五分



平和の鐘

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要「平和の鐘」実施にご協力を

千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要では、宗門として恒久平和への願いを新たにするため「平和の鐘」を撞きます。

「平和の鐘」は、仏のみ教えと、千鳥ヶ淵戦没者墓苑で誓われる平和への決意を、日本国内外に響かせ届けたいという願いのものとほじめられました。

宗門が一体となつて平和への思いを新たにするため、各寺におきましても、法要と同時刻（午後一時三〇分〜午後一時三五分）に、梵鐘（または喚鐘など）を撞いていただきますようお願いいたします。

※詳細は、本願寺ウェブサイトをご参照ください。

退職のごあいさつ

二〇二二年に採用していただき、この度二〇二四年三月末をもって山陰教区教務所を退職することになりました。十二年の間でさまざまな経験をさせていただき、多くのことを学ばせていただきました。

たくさんの方にお世話になりましたこと、この場を借りてお礼申しあげます。ありがとうございました。

飯南組 明眼寺 菅 龍慈

ドレミファ組

大田中組実践運動の取り組み

大田中組 実践運動委員長 高津 眞悟

大田中組は、旧仁摩・大森組が一緒になっての出発であります。二〇〇九年には両組三ヶ寺だったのが今では二七ヶ寺となりました。

実践運動推進のため、寺婦、僧侶、仏婦、子ども若者ご縁づくり等々の教化部会を設け、計画、実行しています。その方向性とまでは言えませんが実践運動推進研修会を年に一度実施しています。

目標は一期四年ごとに決定します。前期は、親から子にと伝え、心豊かに生きる社会の実践をめざすという活動の一つが組のサマースクール。そして各寺での活動です。

今期は、「地域と寺院のつながりを大切に、お寺を中心とした新たなコミュニティを作る。」「貧困の克服、皆で考え計画を立て実行する。」「まだ具体的ではありませんが、各寺院の今後に期待します。」

御同朋の社会をめざす運動は、如来さまの大悲に出会い、その喜びが生活の中に反映されることでありましょう。正直に生きる。とても難しいことではありますが、そうありたい

と生きることだと思えます。今の問題は何か、何をなすべきかを自問自答しながら生きることと思います。如来さまの教えを仰ぎつつ、できない自らに絶望し、なおもそうありたいの心を持ちながら生きる—それが実践運動となるのではないのでしょうか。

研修会は、「勉強になった」ということも大切であります。「良かった」「楽しく参加できた」と言ってもらえる研修会を目指しています。昨年度は、差別問題をテーマとした映画『かば』〜西成を生きた教師と生徒ら〜を上映、川本貴弘監督に講演をしていただきました。

本年は、映画『福田村事件』の上映、監督の都合で先に講演をしていただいたことでもあります。ただ見た、聞いたではなく、各寺にて法座の時間などで話し合いをしてもらい、学習を深めていただくこととしました。

地域が消滅しようとしている今こそ、寺として念仏者として何を成すべきか、何ができるかを判断し行動しなければなりません。イベントを開催し新たな人とのご縁づくりをさ

れている寺もあります。今後は、いろいろな方法での寺院活動を試みたいものであります。

つぶやき職員

近年話題となっている「AI（人工知能）」は、私たちの生活にどのような変化をもたらすのでしょうか。AIが高度化するにつれて、「多くの仕事がAIに置き換わってしまうのではないか」という声も聞こえてきます。

確かに、単純作業の自動化や、膨大なデータの分析など、AIが得意とする領域は広がっています。

しかし、AIは過去のデータに基づいた作業は得意ですが、人の感情を理解し、それに応じた適切な行動をとるのは苦手です。AIやテクノロジーが進化し続ける中で、「人と人のつながり」の重要性はますます高まってくるように感じます。

教務所職員の仕事も、「人と人のつながり」で成り立っています。これからも、教区の皆さまのご協力をいただきながら、日々丁寧に取り組んでいきたいと思

(N・J)

伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 古田た佛具製作所

〒600-8328 京都市下京区正面通西洞院東入ル蛭子水町609
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーアクセス 0120-343-036

G1053 コットントートバッグ



井筒法衣店

〒600-8468
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）
Tel 075-351-1234 Fax 075-341-7905
☎ 0120-075-720

オンラインショップはこちらから →





皆さまは矯正展をご存知でしょうか。受刑者が製作した製品の展示販売を通じて、再犯防止に向けた矯正行政の現状について広く知っていただくためのイベントです。先輩教誨師に声をかけていただき、二〇一八(平成三十)年五月一日に教誨師に委嘱されて以来、松江刑務所にて毎月一回の個人教誨を行ってきました。しかし、コロナ禍によって刑務所に伺うことが難しい期間があったことや、教誨を希望する方の減少など、著しい変化があらわれました。「何かできることはないだろうか」と坊主に問うと、「お寺で矯正展を行えば、受刑者と社会のかけ橋になるんじゃない?」と素晴らしいアイデア。

ける必要があります。不安を払拭するため、本山(西本願寺)の御正忌報恩講における矯正展の実例をお伝えし、販売促進に対する戦略(門信徒の皆さまへのご案内をはじめ、新聞折込チラシ、フェイスブック・インスタグラムも活用して広く一般の方にもPRすること)をプレゼンすることで、ようやく開催へ

憂
楽
帳

松江刑務所 in 龍善寺
 刑務所作業製品展示即売会
 出雲組 龍善寺 住職
 なぎら ゆい じょう
 柳 樂 由 乗

しかし、いざ施設側にご提案をいたしますと、
 ①松江刑務所からお寺に出張したことは:
 ②売り上げは:
 ③所長が変わると方針が変わることも:
 自己満足ではいけません。ご来場者、受刑者、矯正施設、そして、世間がそれぞれ恩恵を受

の糸口がみえました。また、「何を売っているかわからない」といった声があり、販売リストをチラシに記載。松江養護学校の生徒さんたちが機械を使わず手で織った「さをり」を用いて作成されたランチトートバッグやポーチをはじめ、タンス・踏み台・まな板・定評の石鹸(ブルーステイック) などなど...
 今年四月には神門組親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要において矯正展ブースが出店されたとのことで、活動が広がりを見せつつあります。新たに何かを始めることには困難も伴いますが、やったからこそ積める経験は他では得られません。これからも耳を傾け、皆さまとともに...。



編集後記

高校を卒業後に大手都市銀行に入行した友人がいます。話を聞きますと支店長まで上り詰めたそうです。大学卒でも支店長になることは難しいでしょうし、ましてや大手都市銀行。確かに彼は裏表のない性格で、誰からも好かれる人格でした。還暦を迎えましたが、現在は関連会社に向向しているようです。彼の人生すべてが順風満帆であったかはわかりませんが、役に就くということは周りからの信頼も得ていたのでしょう。

私も人生の半分以上を僧侶として過ごしてきましたが、自分自身、僧侶以前に人として信頼や信用をされているのかと思うこともあります。門信徒のみならず皆さまの痛み・悲しみ・苦しみに寄り添ってきたのかと振り返ることもあります。

袈裟・衣を付けていれば上座に座らせてもらえた時代ではなくありません。人として、ましてや僧侶であるならば上座に座らせてもらえる資質が必要と思いはじめた昨今です。

(S・J)